

令和元年度 農山漁村振興交付金(山村活性化対策) 事業実施主体 評価結果

1. 事業評価の実施

令和元年度に実施された農山漁村振興交付金(山村活性化対策)の事業について、「農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領」(平成30年3月28日付け29農振第2261号農林水産省農村振興局長通知)の第9の1の(1)の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 評価結果

都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階			評価	評価コメント
			R1	R2	R3		
北海道	鹿部町	鹿部町	●	○	□	A	・総合的に目標の達成状況が優良と認められる。

(注1) 「事業実施段階」の凡例： ○・・交付対象年度(計画) ●・・交付対象年度(実施済) □・・目標年度(計画) ■・・目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分： A・・優良 B・・良好 C・・低調

3. 第三者の意見聴取

農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領の第9の1の(1)の規定に基づき、第三者である宮林茂幸(東京農業大学教授)から評価に当たり意見の聴取を行った。第三者及び意見聴取の概要は以下のとおり。

【第三者】

宮林 茂幸

【意見聴取の概要】

- ・当初の計画どおり、基本的な取り組みは行われている。たらこ加工品については専門家等の指導のもと加工精度をあげて早期に販売がスタートすることが期待される。山菜の半栽培化については、タラノキを基本に、他にも活用可能なものがあれば種類の拡大に取り組むことが望ましい。
- ・A級グルメのまちづくりとの連携を強化する上では、水産加工事業者以外の主体も商品開発等に参画する体制を検討することも必要である。